

Portsdown 4 で DFR0550

Portsdown 4 で DFR0550 (5 インチ DSI タッチスクリーン) を使用する際、初期設定ではタッチの方向が 180 度反転していたり、アライメントがずれたりすることがよくあります。

これは Portsdown のソフトウェアが公式の 7 インチスクリーンを基準に設計されているためですが、システムメニューから修正が可能です。

タッチスクリーンのアライメント・反転を直す方法

Portsdown 4 には、この問題を解決するための専用メニューが用意されています。画面がずれていって操作しにくい場合は、以下の「タッチポイント」を参考に操作してみてください。

Menu 3 を表示する: メインメニューで「Preset 1」のあたりをタッチします。

System Config メニューへ移動: 「M2」ボタン (System Configuration) をタッチします。

タッチ反転設定を切り替える: 「Web Control」のすぐ上にある** 「Invert Touchscreen」** という項目を探してタッチします。

うまく押せない場合は、画面上の「inverted」という単語の「d」の文字あたりを狙ってタッチしてみてください。

再起動: 設定を変更すると再起動を確認するメッセージが出るので、実行します。

コンソール (SSH) から設定する場合

タッチ操作が全く受け付けられないほどずれている場合は、PC から SSH でログインして設定を変更するのが確実です。

コマンド: menu.sh を実行してコンソールメニューを開きます。

設定箇所: System Setup -> Touchscreen 関連の設定、もしくは Invert Touch オプションを探して切り替えてください。

注意点: 電源供給

DFR0550 は Raspberry Pi から電源を供給しますが、電圧が不安定 (5V 以下) だとタッチセンサーの挙動が不安定になり、アライメントが飛ぶ原因になります。

画面右上に「雷マーク」が出ていないか確認してください。

可能であれば、GPIO 経由ではなく安定した 5.1V/3A 以上の電源を使用することをお勧めします。

Portsdown 4 の初期設定ガイド

<https://www.youtube.com/watch?v=nkjheie8uOk>

この動画では、Portsdown 4 の初期セットアップ手順を解説しており、タッチスクリーンを含む基本設定の流れを確認するのに役立ちます。